

超絶技巧のキング・オブ・ジプシー・ヴァイオリン ロビー・ラカトシュ率いる  
ラカトシュ・アンサンブルと若手実力派バンドネオン奏者の夢の饗宴

# Lakatos Ensemble with Kazuma Miura

2019

Monday 18 November, 2019 7:00 p.m. at Tokyo Bunka Kaikan

11/18

月

19:00開演  
(開場18:30)

## ラカトシュ・アンサンブル with 三浦一馬

会場:東京文化会館 大ホール

ロビー・ラカトシュ (ヴァイオリン) / 三浦一馬 (バンドネオン)  
Roby Lakatos (Vn) / Kazuma Miura (Bn)

ラカトシュ・アンサンブル Lakatos Ensemble

ラースロー・ボーニ(第2ヴァイオリン)/カールマーン・チェーキ・ジュニア(ピアノ)  
イエヌー・リステシュ(ツィンパロン/スネア・ドラム)/ラースロー・パログ(ギター)  
ラースロー・リステシュ(コントラバス/エレキ・ベース)

### 予定プログラム

チャルダッシュ(モンティ)/剣の舞(ハチャトゥリアン)  
ハンガリー舞曲(ブラームス)/ひばり(ルーマニア民謡)  
オブリビオン(ピアソラ)/ブエノスアイレスの冬(ピアソラ)  
リベルタンゴ(ピアソラ)/ラ・ケンパルシータ(ロドリゲス) 他

※やむを得ず曲目が  
変更になる場合がございます。  
予めご了承ください。  
※未就学児の入場は  
ご遠慮ください

料金: [全席指定] S席 6,000円 | A席 5,000円 | B席 4,000円(税込)


2019年4月1日(月) 10:00一斉発売!

お申込み・お問合せ: 日本アーティストチケットセンター

03-5305-4545

(平日10:00~18:00)

インターネットでもお申込みいただけます

日本アーティスト  <http://nipponartists.jp/>

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード145-862) イープラス <http://eplus.jp>

ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード33811) 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

主催:日本アーティスト / 協力:テレビマンユニオン





## ロビー・ラカトシュ

超絶技巧の“キング・オブ・ジプシー・ヴァイオリン”

「世界最速のバイオリン弾き!!」(イギリス 「デイリー・テレグラフ」紙)

1965年、ハンガリーの伝説的ジプシー・ヴァイオリンの名家・ラカトシュ家に生まれる。リストやベートーベンにも影響を与えたというジプシー・ヴァイオリン中興の祖「ヤーノシュ・ビハリ」を祖先にもつ。9歳にして早くもプロ・デビュー。ハンガリーの首都ブダペスト「ペーラ・バルトーク音楽院」に進み最優秀ヴァイオリニストとなり、「リスト音楽院」では首席で卒業。クラシック以外のアーティストでは初めて「ドイツ・グラモフォン」と契約。ユーディ・メニューインから「次代を担う天才」と称賛されたのはラカトシュが19歳の時だった。クラシックではナイジェル・ケネディ、ワディム・レービン、ジャズではステファン・グラッペリ、ビレリ・ラグレーン、ランディ・ブレッカーらジャンルを問わず世界の巨匠たちとの共演を果たし、ニューヨーク・カーネギーホール、ロンドンのロイヤル・アルバート・ホールなど名だたる劇場で成功を収める。

### Ensemble

#### ラーズロー・ボーニ(第2ヴァイオリン)

1968年ブダペスト生まれ。ラカトシュの父のもとでヴァイオリンを学ぶ。日本への来日多数。

#### カールマン・チェーキ・ジュニア(ピアノ)

1982年ブダペスト生まれ。父(カールマン・チェーキ)もピアニストであり、ラカトシュ・アンサンブルのメンバーであった。幼いころからジプシー音楽、クラシック、ジャズなど様々なジャンルをピアノだけでなく様々な楽器を学ぶ。

#### イエヌー・リステシュ(ツインバロン/スネア・ドラム)

1986年ブダペスト生まれ。若い世代の中で最も才能のあるツインバロン奏者とされる。弱冠12歳でツインバロンコンクール入賞。ブダペストのフランツ・リストアカデミー卒業。

#### ラーズロー・バログ(ギター)

1987年ブダペスト生まれ。幼少時ツインバロンを学び、12歳よりギターに転向。フランツ・リストアカデミー卒業。

#### ラーズロー・リステシュ(コントラバス/エレキ・ベース)

メンバー最年少。1988年生まれ。ツインバロンのイエヌーとは兄弟である。9歳までヴァイオリンを、その後コントラバスを学ぶ

## 三浦 一馬(みうらかずま)

1990年生まれ。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、自作CDの売上でアルゼンチンに渡航。現在に至るまで師事。07年、井上道義・神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演でマルコーニのバンドネオン協奏曲《Tangos Concertantes》を日本初演。このオーケストラ・デビュー以降、国内の主要オーケストラと共演を重ねている。08年10月、イタリアで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。11年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、アルゲリッチやバシュメットら世界的名手と共演、大きな話題と絶賛を呼んだ。12年にはマルコーニと東京・兵庫・名古屋で共演を果たし、白熱した演奏で聴衆を沸かせた。15年出光音楽賞(14年度)を受賞。16年にはデビュー10周年を迎え、7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でバカロフ作曲「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。

17年、自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を結成、同年11月には埼玉県「久喜市くき親善大使」に就任。2018年10月24日キングレコードより、全編ピアソラ作品によるキンテート(五重奏)編成の最新盤「Libertango」をリリース。同年12月1日から公開のドキュメンタリー映画「ピアソラ 永遠のリベルタンゴ」の広報大使を務める。

現在、若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。使用楽器は、マルコーニより譲り受けた銘器、1938年製「Alfred Arnold」。



© 井村重人